

文芸ひろば

詠歌の紹介

投稿作品

随行で継ぎし聖火再びの東京決まり老いときめき
暑き日が暖かき日になる彼岸
夜半の雷去りて静けき枕辺に一際高く蟋蟀の声
仏様帰リジジババ金休み
思い切り目をむき鎌をふりかざす蟋蟀に会う墓への近道
梓畑赤く実った富有の顔
天国に召されて逝きし妻の遺書我讀み取りて遠影に涙
清貧の父母の仏前衣被
閑渡る颯風の唸りが呼びおこす遊しとさんの開病の日々を
刈草や日向の匂い夏列れ
母眠る小高き丘に彼岸花年古りたる昨日と思う

櫻井清風
吉田正道
沽野はつ子
やまぐらいつむ
菅谷味子
中島市男
山本福重
田能幸雄
的場登志子
渡辺静江
石塚清

千代田俳句同好会

新聞紙の端のざらざら秋の声
敵意なき我に威嚇やいばむしり
毒茸蹴飛ばして行く古墳塚
星月夜尺八の父遠くなり
小学生の野外学習萩の花
貝塚の広がる台地の萩の風
捨て舟の舳先にとまれ赤蜻蛉
古代笹文を揃へて萩の花
参道は一面桜落葉かな

飯沼礼子
枝力
大西周
加藤貞江
小松崎正生
小松崎緑
榊原清志
桜井愛子
萩原初枝

おもいのまま風船ボールの打ち合いに興ずる老の顔の輝き
成人式迎える頃には二児の母嫁の振袖姿思へり
水面に生れてしずかに消えてゆく飛沫の灯すひとの世界
昨年の師走をおもうあわただしきれんこん同屋の事務でありし日
米寿すぎ法の大台のぼりさるや老少不定ゆく雲に問ふ

小室貞江
名倉親子
岡田恭子
浜田留子
飯島ヒロエ

》写真で振り返る合併 10 年



大和田生産組合の皆さん
[平成 20 年 11 月]

平成 20 年 11 月 3 日から市特産品の「本格やきも焼酎『湖山』」が販売開始となりました。遊休農地の活用と特産品づくりの一環として、地元産のさつまいも(紅あずま)を原料とした加工品の準備をしてきました。4 月にかすみがうら市焼酎づくり推進協議会を設置し、本格的な商品開発が進み、完成の運びとなりました[広報かすみがうら No. 43]。

》市民学芸員雑誌記帳

新しい視点 ジオサ仆!

筑波山周辺の6市(つくば市・土浦市・石岡市・桜川市・笠間市・かすみがうら市)で『筑波山地域ジオパーク』の認定を目指し、活動を展開しています。当市には、雪入山系から霞ヶ浦周辺に多くのジオサ仆候補地が潜在しており、この構想を推し進めて新しい地域活性化の資源にしたいと考えています。先日、ジオサ仆の候補地の一つである歩崎周辺の地層と崎浜の横穴墓の現地審査のガレを務め、審査委員に当市の魅力を紹介しました。市民学芸員の会でも市内の地質・歴史文化などの多様な地域資源をジオパークの視点で見つめ直し、今まで知らなかった地域の魅力を再発見し、市民の皆さんに紹介していきたいと思います(深井征一郎)。

NO. 公共施設の更新問題②

Date. 平成 26 年 10 月 20 日

●公共施設の更新問題

まちづくりや市民生活の視点で「公共施設のあり方」を考える

本 市では、約 30 年先を見通した公共施設などのあり方の検討を始めました。平成 26 年度は、「公共施設等総合管理計画」として基本方針・基本計画(総論)の取りまとめを予定しています。

個々の公共施設のあり方(各論)は、平成 26 年度の取りまとめ結果を踏まえて、平成 27 年度以降、具体的な検討を始める予定です。

調査管財課(千代田庁舎)

市HPで「公共施設の更新問題」の特設ページを開設し、市の取り組み状況を随時お知らせしていますので、ぜひご覧ください。

市民アンケート調査を実施しています

市民の皆さんと問題意識を共有しながら、公共施設の更新問題を考えていくため、アンケート調査を実施しています。満 18 歳以上の市民から無作為に選んだ 2,000 人の皆さんに、アンケート調査票を送りましたので、該当された方は、10 月 31 日(金)までに回答・投函をお願いします。



例えば

- ▶人口減少や年齢構成、生活スタイルの変化などにあわせて、公共施設の量や役割を見直す。
- ▶行政だけでなく、市民や民間企業の力も借りて、公共施設を管理・運営する。
- ▶分散している施設をまとめたり、使い勝手をよくして、生活に便利な公共施設にする。
- ▶公共施設をできる限り長持ちさせ、建て替え時期を集中させないようにする。

知恵と工夫で“やりくり”が必要です

- ▶公共施設の老朽化が進んでいます。
本市には、147施設、370棟の公共施設があり、総延床面積は約 13 万 m²で、東京ドーム約 3 個分と同じ面積です。これらの多くは、1970 年代から 1980 年代に建設され、約半分が築 30 年以上を経過し、このまま 10 年放置すると約 4 分の 3 が築 30 年以上となり、大規模な改修や建て替えが必要な時期を迎えます。
- ▶すべての施設を維持することは、不可能な状況です。
今ある公共施設や道路などの大規模な改修や建て替えに必要な費用と、長期的な財政の見通しを試算し比較したところ、必要な費用の 4 分の 1 程度しか確保できないことが分かりました。また、公共施設を建築した時期が集中していたことから、大規模な改修や建て替えの時期も集中することになります。
- ▶公共施設は、市民の財産です。
公共施設を利用している・利用していないにかかわらず、現在、公共施設の建設や管理に必要な費用のほとんどに、皆さんの税金が充てられています。
市民の皆さんと情報を共有しながら、利用したくなる施設、利用しやすい施設、地域の魅力が高まる施設のあり方を検討していきます。